

Tonomachi Cafe

Vol.67

細胞リプログラミング技術が切り拓く 中枢神経系再生の新展開

登壇者



松田泰斗氏

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科バイオサイエンス領域
脳神経機能再生学 准教授

略歴

脳神経機能の再生や組織修復を中心としたバイオサイエンス・医学研究を専門とする。

徳島大学工学部を卒業後、同大学大学院修士課程を修了。奈良先端科学技術大学院大学および九州大学大学院にて博士課程での研究を経て、九州大学大学院医学研究院にて特任助教、助教、講師を歴任した。2016年には日本学術振興会特別研究員（PD）として名古屋市立大学に在籍し、研究活動の幅を広げた。2024年11月より奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス領域・脳神経機能再生学分野の准教授として、研究および人材育成に従事している。

Agenda



講演 16:00-16:45



Q&Aセッション 16:45-17:00

ネットワーキング 17:00-17:30



2026年2月18日(水) 16:00-17:30

LINK-J ラウンジ

〒210-0821川崎市川崎区殿町3-25-10
Research Gate Building TONOMACHI
(RGB II)1階

Register Now



定員に達した場合は、受付を終了することがございます。ご了承ください。

講演要旨

本講演では、中枢神経系は損傷や加齢により不可逆的な機能低下を起こすと考えられてきましたが、近年、細胞リプログラミング技術の進展により、その常識が変わりつつあります。本講演では、特定の転写因子を用いた細胞運命制御を基盤とした神経再生誘導技術を紹介し、中枢神経系の再生や機能修復への応用可能性について、最新の研究成果を交えて概説します。また、研究過程で生じた課題から発展した、AIを用いたシングルセルRNA-seqデータ補完技術とそのスタートアップ展開についても紹介します。